

# さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

崎山中学校だより  
4月18日 第1号  
文責 校長 竹谷



## 御入学おめでとうございませう

4月7日(木)、令和4年度第十八回入学式を行いました。真新しい制服に身を包んだ8名の新入生が入学しました。緊張した面持ちで入場しましたが、その後の新入生呼名の返事や姿勢の良さなどに、中学校生活への意気込みを感じました。

入学式では3年生の入江善幸くんが歓迎の言葉を述べるとともに、「笑顔での挨拶」「積極的な活動」「あきらめない気持ち」を大切にしながら、「一緒に日本一の学校を目指そう」と新入生に伝えました。また、新入生代表の木下結愛さんが誓いの言葉を述べましたので、その一部を紹介します。

## 令和4年度入学式

．．．．．今、私たちは中学校へ入学した喜びと、これからの中学生活への不安が胸がいっぱいです。授業ごとに担当の先生が違ったり、毎日のように部活動があったりします。これまで小学校で学んできたことを生かし、どんなことにも全力で取り組みたいと思います。また、先輩方を見習いながら、日々を過ごしていきたいと思えます。悩むことや迷うこともあると思いますが、さつきやま魂で、乗り越えていきます。

中学校生活への不安とその不安を取り除くために、何に力を入れるかがわかる素晴らしい誓いの言葉でした。

私からは式辞の中で、「誰でも得意なこと、不得意なことがある。勉強でも、運動でも、そのほかのことでも、何でもいので、得意なこと力を発揮し、目立ってほしい。」と伝えました。それぞれの生徒がいて、そこを發揮して、崎山中学校がさらに發展することを願っています。



## 令和4年度のスタートです

新型コロナウイルス感染者の動向がなかなか落ち着かない中ではありましたが、全校生徒が出席し、令和4年度を無事スタートすることができました。始業式では、「一人一人が輝く」という今年度のキーワードについて話をしました。

新2年生の村堀蒼己くん、新3年生の久保琉矢くんが新年度の抱負を述べました。学年としての目標には、ともに先輩としての強い決意を感じました。個人としては、自分の課題克服を目指していました。精進し、すばらしい1年にしたいと思っています。

二人に代表される先輩たちが、新しい崎中を引っ張ってくれると信じています。

## 転入職員を紹介します

- 校長 竹谷 厚則(保体) 嵯峨島小
- 教諭 松岡 孝之(理科) 玉之浦中
- 講師 楠本 友里(理科) 大島東小
- 非常勤講師 常喜由理子(美術科)
- 支援員 永峰ナナ子 奥浦中

## 崎山中に転入して(竹谷所感)

9年ぶりに崎山中に帰ってきたので挨拶回り、以前お世話になった方々にお会いできて、懐かしい気持ちになりました。学校は、生徒数が減少し、それに伴う課題がたくさんあります。また、コロナの動向も悩ましいところですが、子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるように力を注ぎますので、保護者及び地域の皆様の御協力をお願いいたします。

## いろいろな行事も始まりました

新年度の行事も始まりました。15日には、生徒会が計画した歓迎行事。箕岳まで遠足し、歓迎のレクリエーションを行いました。前日までの雨と強風の影響が心配されましたが、十分に楽しむことができました。私も久しぶりに展望所上り、鬼岳や五島灘の景色を楽しみました。60前の身体にあの階段は堪えましたが、生徒が軽やかに上り下りする姿をうらやましく思い、この1年鍛え直すことを決意しました。



週末の16日にはソフトテニスの春季大会が行われました。中総体前の大会ができて、今回の試合で、自分ができていること、練習が必要なこと、修正し、本番でのいい結果を期待したいと思えます。次の週末には、バスケットボールの春季大会も開催されます。コロナ禍でなかなか練習試合を行うことができません。このような大会を、いい調整の機会にしてほしいと思います。

悔いのない大会にするために、残り一か月間頑張れ崎中生！

## 4月後半の予定です

- 19日(火)全国学力・県学力調査 父母と教師の会役員会
- 22日(水)県学力調査(英語)
- 22日(金)父母と教師の会総会